

摂南大学看護学部

開設1周年記念シンポジウム



日時

2013年
11月23日(土)
13:00 ~ 16:00

場所

摂南大学
枚方キャンパス3号館「メディックスホール」
枚方市長尾峠町45番1号
京阪本線「樟葉」駅から京阪バスで約10分
または JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バスで約10分

定員

400人

プログラム

●13:00~14:30 講演会

「看護研究が医療を動かす」

講師 ^{さなだ ひろみ} 真田 弘美氏 (東京大学大学院 医学系研究科 教授)



プロフィール

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野教授、博士(医学)。1979年聖路加看護大学卒業、1987年クリーブランドクリニック聖路加分校ETスクール修了、1989-90年イリノイ大学大学院看護学部にて研修、1987-97年金沢大学医学部研究生 博士(医学)、1998年金沢大学医学部保健学科教授、2003年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学分野教授、2006年より現職。

日本看護協会副会長、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本褥瘡学会の理事長、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、

日本創傷治癒学会、日本老年泌尿器科学会などの理事、厚生労働省「チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ」「診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会」の検討委員を務める。International Wound JournalのEditor、Journal of Wound careのEditorial advisorなどの国際雑誌を編集。2013年4月、Journal of Wound Care主催のJWC AWARDS 2013においてInnovation Awardを受賞。

基礎研究から臨床応用までをモットーに、看護学における創傷・スキンケア分野での共同研究や論文発表、講演など国際的に幅広い活動を行っている。

●14:45~16:00 パネルディスカッション

「高い専門性を持った看護師の現状と課題」

医療の高度化や専門分化の進展に伴い、医療現場では、チーム医療の一翼を担える高い専門性を持った看護師が求められています。一方で、医師の具体的な指示がなくても、看護師が診療の一部を担うことができる特定看護師(仮称) [NP:ナースプラクティショナー]の資格制度に向け法制化が推進されています。今後期待される看護師像について、NPの現状・課題などを交えながらディスカッションいただきます。

パネリスト

^{いとう けいこ} 伊藤 恵子氏 (社団法人全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院 副院長兼看護局長/認定看護管理者)

^{なかやま のりこ} 中山 法子氏 (公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 看護管理室師長/特定看護師[仮称])

^{むらい つねゆき} 村井 恒之氏 (医療法人恵愛会 中村病院 看護部/特定看護師[仮称])

Smart and Human

常翔学園

摂南大学



<http://www.setsunan.ac.jp>

■ 枚方キャンパス 〒573-0101 枚方市長尾峠町45-1
■ 寝屋川キャンパス 〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8

学校法人常翔学園

摂南大学、大阪工業大学、広島国際大学
常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校

● シンポジウムに関するお問い合わせ 摂南大学看護学部事務局 TEL: 072-800-1170 (受付時間 日・祝を除く9:00~17:00) E-mail: kango@ofc.setsunan.ac.jp